

《秋の扇ヶ谷を歩く》

師走とはいえ、初秋のような暖かい上天気になった1日を、鎌倉の、扇ヶ谷は英勝寺から海蔵寺、葛原岡神社、銭洗弁天社、佐助稲荷などを巡り、大貫先生のご案内・講釈と散策を楽しみました。
＜ 実施日 平成30年12月4日（火） 参加者 23名 ＞



《鎌倉駅西口からスタート》

まずは大貫先生の概要説明がありました。先生に続いて、生涯学習「西柴」のピンクの旗が、参加の皆さんを先導します。



《英勝寺は太田道灌邸の旧跡》

鎌倉幕府の滅んだあと、鎌倉は足利氏の支配地になり、扇ヶ谷は補佐役の上杉氏に与えられ、その家臣の太田氏も、その一角のこの地に、居を構えたものです。



《英勝寺の境内・・・太田道灌邸の跡は建造物や文化財が貴重で、また花木が綺麗です》
 太田道灌の4代後の「お八」が、徳川家康の夫人になり「お勝」名を賜った。家康逝去のあと、お勝の方は名を「英勝院」と改め、太田、徳川家を供養する寺を開くことを許され、寛永13年（1636）完成した寺院です。その後は、水戸家のお寺、尼僧の寺となっています。その由来などについて大貫先生の詳しい解説を伺いました。



《海蔵寺での紅葉と伝説の話》

底抜の井・・・鎌倉十井のひとつ。寺に修行する尼僧が水を汲んだ時、桶の底が抜け、その瞬間に悟りを得たと伝説される井戸があります。

その話を、ジョークを交えて話される、いつもの先生の講釈に、また笑いが弾みます。



《葛原岡神社で》

由比ガ浜の鎮守。明治 20 年、日野俊基を祭神に創建。

境内には俊基卿処刑の場を示す自然石や卿を供養する宝篋印塔と共に縁結びの社などがあります。

神社の前の「こもれび広場」で、穏かな日差しのもと皆さん持参のお弁当を広げました。



《葛原岡神社から源氏山方向へ散策》

お穏やかな日の中、周りの紅葉も楽しみながら散策を・・・

この後、銭洗弁天社で・・・「何かを」・・・祈願??。



《佐助稲荷社の境内》

佐助ヶ谷にある稲荷社。「鎌倉攬勝考」に、社木陰森たり。また、「凶徒退治祈祷之事・・・」などと書かれた古文書があって、足利尊氏の花押もある由。
我々一行は、ここで一息休憩・・・でした。



《諏訪神社で終点・講師の熱弁のあと、ここで解散しました》

ここ、御成地区には北条、千葉氏と並んで諏訪屋敷もあったようです。諏訪氏は盛澄の時代に頼朝に敵対したことから捕らわれたが、弓矢の腕を見込まれ御家人に取り立てられ、後に屋敷も許されたそうで、この社はその屋敷神に始まるとも。